修学旅行新聞

発行所　財団法人
全国修学旅行研究協会
発行人　早川泰雄
東京都千代田区西神田2丁目8—7（幅ビル）
電話（262）2426・2932
振替（東京）3—36337

修学旅行は学習を社会に移したもので、生活指導及び集団訓練の好機会であり、教育計画の一環として行なう学校教育上極めて重要な行事である。
従って修学旅行を安全かつ有効に実施するための企画及び運営を科学的に調査研究して、常にその改善に努力しつつ教育効果の充実向上を図る事は必要であり教育界に課せられた義務である。
（財団法人・全国修学旅行研究協会の趣意書から）

三地区

修旅連絡協総会開く

連帯のきずなも固く

山本理事長が強調　父母負担軽減に全力

関東・東海・近畿三地区修学旅行連絡協議会の本年度（通算第十四回）の春季総会は六月二十二、三の両日、三重県湯の山の近鉄観光ホテルに小笠原健治会長をはじめ全役員、顧問の全修協山本理事長のほか来賓として魚谷時太郎氏（全修協理事、修学旅行特別委員長）、また、昨秋の総会で三地区加入が議決された福岡からも岡部利安（百道中学校長）鮮川弥太郎（金武中学校長）二氏も出席して開催。会長に永山美智雄氏（茨城県中学校会長、関修委会長、水戸市第二中学校長）のほか各役員を選出後、運賃改訂、輸送確保、父母負担軽減などの運動方針をかため、ここに新年度のスタートを切った。

総会は午後二時三十分、事務局長小泉松雄氏（全修協研究部長）の開会の辞、小笠原健治会長は遠隔の地から参集した全員に対して謝辞を述べたあと「この会の名称が示すように各地からの情報交換を基盤に、これから修学旅行が円滑に実施できるよう期待したい」と挨拶した。

また、顧問の山本種一氏（全修協理事長）は次のように述べた。

「教育活動としての修学旅行をあらためて考え直したい。それは教師、父兄、そして一般社会からも深い関心が持たれているからであり、また、心ある人々も修学旅行について大きな期待をかけているためである。われわれはそれらを謙虚に受けとめ、総意をあげて修学旅行の改善に挺身することを誓いたい。現下のきびしい経済情勢のもと、修学旅行費の父母負担はいまや大きな社会問題になりつつあるが、三地区連帯で強固な運動を展開するならば、その打開の可能も生じてくるものと確信する。地域的には互いに遠く離れていても、修学旅行というきずなによって固く一本にまとまっているこの協議会の活動が広く展開されるよう希望したい」

来賓の魚谷時太郎氏（全修協理事、修学旅行特別委員長、兵庫県支部長）は「開催地の東海地区修旅委に対し深く感謝する。私の中学校長時代とは条件その他はすっかり変貌し、学校個々では修学旅行の実施が困難な状態になっている現在、とくに輸送をはじめ経済的な課題に至るまでの解決策樹立のための先生方のご苦労はひとかたならず、感謝にたえないところだ。関東から九州までの各地区修学旅行関係者が手を携えて突進すべき段階にきているのではないか。山本種一氏を理事長とする全修協と一致協力して具体的な運動を展開し、教育界はもちろん一般社会への指針となるようご尽力を願う」と挨拶した。

会務報告のあと役員改選が行われ、会長には永山美智雄氏ほか各役員をそれぞれ選出した。会長欠席のため荒井伸男氏（茨城県修旅委員長、水戸三中校長）が議長となって協議に入った。

①運賃値上げの特別措置＝今回の国鉄運賃上げにより春季と秋季にわたる地区では費用に格差が生ずる。三地区連絡協としても重大問題であり、運輸省、文部省、国鉄に対して要望を行うことに決定。

五十五年度修学旅行の輸送確保と新幹線輸送の問題点および対策＝五十四年度は国鉄の要望を入れ「こだま号」の分割輸送となったが、五十五年度もだいたいこの線でいく方針のようだ。在来線は国鉄の合理化に伴い人員、車両とも相当削減される傾向にあるため三地区としてもこの対策が焦眉の急であると提案、これについて高橋尹敏（埼玉）西沢増太郎（東海）谷田隆（近畿）の三氏から地区の実情が報告された。議長は共通理解のもとに強力な運動の推進策を事務局で樹立することに決定。

②旅行費の父母負担軽減＝年ごとに上昇する費用についても要望を関連業界に対して行うことを決めた。これには国費補助金の増額も含まれている。

③各地区研究活動の交流④三地区の連携強化拡大と他地区との協力＝すでに各地区で活発な研究発表会なども開かれているが、本年度は三地区が合同し実施できるよう検討することを決定した。

とくに本年二月、千葉県成田市で行われた関修委の研究発表会では、修学旅行界でも大きな課題となっている「道徳問題」をとりあげたが、これらテーマによる合同発表会の開催も要望された。

⑤修学旅行に対する各地区、各府県の動向＝昨秋の総会で福岡の加入を可決したが、福岡としての態度は七月七日の県ならびに福岡市中学校長会で検討されることになっており、その正式加入に大きな期待がかけられているとの報告を承認し、午後五時閉会した。

三地区修旅連絡協の第14回春季総会で挨拶する全修協の山本理事長

永山美智雄氏

役員の顔ぶれ

本年度の役員は次の通り。（順不同・敬称略）

【会長】永山美智雄（関東地区中学校修学旅行委員会会長、茨城県中学校長会長、水戸市立第二中学校長）

【顧問】山本種一（財・全国修学旅行研究協会理事長）

【参与】前田寛（財・全国修学旅行研究協会本部事務局長）

【副会長】藤岡太郎（東海三県修学旅行委員会委員、岡崎市立甲山中学校長）門野敬男（近畿二府四県中学校修学旅行委員会委員長、大阪府中学校長会長、八尾市立大正中学校長）

【運営委員】高橋尹敏（関修委運営委員長、埼玉県中学校修学旅行委員長、鳩ケ谷市八幡木中学校長）西沢増太郎（東海三県修旅委員、三重県浜島中学校長）谷田隆（近畿二府四県修旅委委員）小泉松雄（全修協研究部長）

【委員】荒井伸男（茨城県修旅委委員長、水戸第三中学校長）酒井宝祐（千葉県修旅委委員長、松戸第三中学校長）谷沢八郎（栃木県修旅委委員長、宇都宮市城山中学校長）木村一郎（群馬県修旅委委員長、沼田市沼田中学校長）高木義明（東海三県修旅委委員、岐阜市長良中学校長）新田勇（近畿二府四県修旅委委員、大阪府河南中学校長）桜井勇助（同、京都府乙訓郡第二乙訓中学校長）辻弘市（同、奈良県吉野中学校長）仏性紀男（同、大津市粟津中学校長）熊代正一（同、和歌山県福原中学校長）

【特別委員】久保田八郎（近畿）奥禁磯次（同）中山正秋（東海）横山正（同）安川武男（同）伊藤守（関東）

暑中お見舞い申しあげます

昭和五十三年盛夏
財団法人　全国修学旅行研究協会
理事長　山本種一
常務理事　永井熙
同　村山助雄
同　青山良道
理事　高田治郎
同　完戸一郎
同　白末幸雄
同　成瀬時太
同　滝幡左衛門
監事　魚谷治
同　芦田紀
同　尻田重一

本部事務局
局長　前田寛
研究部長　小泉松雄
研修部長　藤田勝次
経理部長　金谷泰雄
広報部長　早川幸子
研修部主任　竹内良雄
参与（常任）　森本雅量

大阪事務所
調査役　小西惣二郎
所長　曽田震五
職員　坂井美恵子

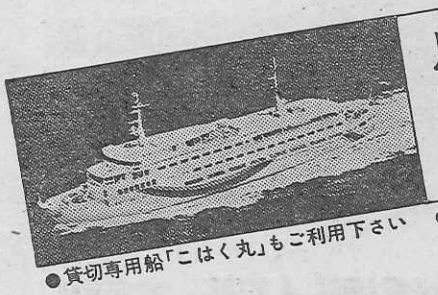
名古屋分室
分室長　鬼頭藤松

風紋

夜は新旧役員の歓送迎会、翌日は四日市市の万古焼の窯元を見学して午後二時、四日市駅で散会した。

うだるような炎暑がつづく。おとなも子どもも涼を求めて海へ山へと脱都会の昨今だが三、四十年ほど前までは、まだ交通機関や諸施設が整わず、したがってレジャー文化も生まれていない。青畳に寝ころび、軒先きの風鈴とスダレ越しの風でわずかに涼を取るくらいが精いっぱいだった。まして昔の江戸では夏場になると納涼には、まなこの色を変えた▼そのなかで隅田川で行われる両国川開きの花火は江戸ッ子にとってすばらしいリクリエーションだった。享保十八年（一七三三）夏のはじまる陰暦五月二十八日に花火が打ちあげられたのが最初という。もっとも江戸市中では以前から小規模の花火があったが、火災の危険が予想されるので禁止になり、隅田川へ移した▼この日になると大川筋は大賑わいとなり、昼は両国広小路の見世物小屋から三味や大鼓が鳴りひびき水茶屋の客引きの声も肝高く、回向院では全国有名寺院のご本尊開帳という賑やかさだった。そして川面には、屋形船が浮んで夜を待つ。暮れるに遅い江戸の空が漆黒に染まると、やがてドカン、ドカンと花火の打ちあげだ。五寸玉、大玉、仕掛け、色変わりなどが夜空を焦がす▼「玉屋ア、鍵屋ア」の大喚声も景物のひとつ。玉屋、鍵屋は当時の指定花火師だったが玉屋は将軍家の上野寛永寺（一説には日光東照宮）参詣の折に失火したのが原因で取りつぶされた。しかし掛け声はやはり「玉屋ア、鍵屋ア」であった。この川開きの花火は八代将軍吉宗のとき、悪疫退治を願う世直しが発端らしいけれど、江戸ッ子の気性に合ったためか年ごとに盛んになった▼しかし混雑回避のため昭和三十六年限りで廃止となったが、都民の要望にこたえて本年、十七年ぶりで七月二十九日に再開となった。しかも一時間で一万五千発、その費用九千五百万円という。全国各地で開催される日本独自の風物詩として夏の夜空を飾る花火はいつまでも続けたい。

KANSAI KISEN

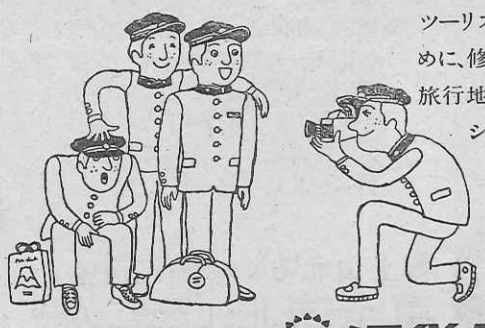


思い出の修学旅行
印象的な、
瀬戸内海の船旅

●貸切専用船「こはく丸」もご利用下さい
●阪神／別府航路（毎日3便）
●阪神／小豆島・高松便（毎日1便）
●東神戸／日向（宮崎）フェリー（隔日1便）

お問合せは＝大阪市港区弁天6—7—15　☎(06)574—9161
東京都中央区八重洲1-9-9　☎(03)274—4271
ほか、各地支店駐在員・旅行代理店へ
関西汽船

ツーリストの修学旅行は新鮮です。



ツーリストでは、より充実した修学旅行のために、修学旅行用の映画を製作いたしました。旅行地別に編集した16ミリカラー「学習の旅シリーズ」、日本の文化・歴史・自然などを広範囲にとらえた「ツーリスト映画シリーズ」など約20編。事前のオリエンテーションのほか、学習の教材にもどうぞご利用ください。

近畿日本ツーリスト
運輸大臣登録一般旅行業第20号

夏季

研修旅行はじまる

教育集団 南へ北へ旅立つ

各自が研究成果もとめて

全修協企画による本年度夏季教職員研修旅行は、いよいよ七月二十三日出発の九州地区団による北海道一周（前期）を皮切りに、八月二十四日帰着の同じく九州団の同コース（後期）まで百三団の編成で実施される。

全国の教職員を中心に旧教職員や家族、友人などで構成される一大教育集団によるこの研修旅行は本年第二十二回を迎えたが、各教育委員会をはじめ教育機関、団体の積極的な後援・協力で年ごとに人気をあつめ、わが国教育界の一大行事として定着している。

参加者は思い思いのコースを選び、各自で研修テーマを求めているが、この成果はやがて迎える新学期の教壇でじゅうぶんに生かされるだろう。

全修協では本部事務局内に研修旅行実施本部（本部長＝前田事務局長）を設置し、研修旅行の万全な運営を期している。同本部では各支部や友誼協力機関を通じて全参加者に対し諸資料の送付を完了、出発を待つばかりとなった。

研修旅行

コース案内

歴史をいろどる風光

各所に文化伝来の遺跡も

本年度研修旅行のコースは全修協が過去二十一回の経験を生かすとともに参加者の意見をじゅうぶん取り入れたものばかり。〝研修〟にふさわしく名実ともとのった諸行事は参加者の期待にこたえられる。各所で行われる講演や解説あるいは講話などは、やがて迎える新学期の教室で生かされるだろう。それらコースのうち北海道につづく「九州一周」の見どころの一部をご紹介しよう。

＝鹿児島県＝

【開聞岳】コニーデの上にトロイデが乗った二重火山で薩摩富士とよばれる。薩摩半島の南端にそびえる円錐形の山。山中に塩土翁（しおつちおじ）の修行所だった天ノ岩屋などもある。

【磯庭園】もとは仙巌園と称した。万治元年に島津光久が造営。錦江湾をへだてて見る桜島がすばらしい。園内には日本式庭園と錫ノ門、望岳楼などがある。

＝宮崎県＝

【えびの高原】韓国岳、こしき岳、白鳥山、えびの岳などにかこまれた高原で、標高約一二〇〇㍍ある。ほぼ中央にある不動池を境に東側はアカマツの密林地帯、西側はススキの原にアカマツ林が随所にみられる。韓国峠の凄まじい山肌と、ところどころに昇る湯けむりの景観はみごと。

【西都原古墳群】広い台地に三百余の古墳が累々として横たわる。東南端には奈良朝のころ、朝廷が一国一寺の割合で全国につくった国分寺跡があり、当時の繁栄がしのばれる。

＝大分県＝

【臼杵石仏】大分県は全国的にみてもまれな石仏の宝庫といわれる。木彫の手法を用いたと思われる丸彫りに近いすぐれた技術がみられ、豊後磨崖仏と名付けられている。臼杵石仏はその代表作として知られ、凝灰岩の懸崖に刻まれた六十数体の石仏は、崩壊しながらも当時の仏師たちの鋭いノミのあとを残している。

【九州アフリカン・サファリ】別府のあじむ草原に誕生した自然動物公園。約七十種、千三百頭羽の動物が放ち飼いにされている。百十五万平方㍍の広大な動物の楽園。

＝熊本県＝

【阿蘇国立公園】九州のほぼ中央にあって、南の阿蘇山塊と北の九重山塊とで形成されている。とくに物凄い火口と、これを取りまく火口原は特異なもの。

【阿蘇山】根子岳、高岳、中岳杵島岳、烏帽子岳の総称で、標高千五百九十二㍍の高岳が最高。過過三回にわたって大爆発があり、現在の山容は第二回目の爆発によってできたものという。

＝長崎県＝

【島原城】元和四年（一六一八）松倉豊後守重政が安土・桃山式築城の粋を集め七年がかりで完成した。天守閣も復元されている。

【平戸市】北松浦半島の西にある平戸島と度島（たくじま）とで市を構成している。平戸島は東西約八㌔㍍、南北約三三㌔㍍、周囲約一六〇㌔㍍ある。平戸は中世における中国大陸との交渉や東支那海の海賊の根拠地として交易の中心であった。天文十九年（一五五〇）にはじめてポルトガルの商船が入港、つづいて慶長年間（一六六〇ころ）にはスペイン、オランダ、イギリスの商船も入港したため商館が置かれた。オランダ商館が長崎の出島に移されるまでキリスト教の布教や貿易の要衝地。

＝佐賀県＝

【唐津市】松浦湾の河口に臨んでいる。その名はむかし朝鮮に渡る港（津）から出たものという。

【虹の松原】浜崎から約八㌔㍍におよぶ砂州。慶長年間、藩主の寺沢志摩守が防風林としてクロマツを植えたのがはじまり。

＝福岡県＝

【都府楼あと】古くは西日本における政治、外交、軍事をつかさどる都督府のおかれたあと。太宰府が最も栄えたのは奈良、平安期のころで、大きな礎石や周囲の状態から昔の壮大さがしのばれる。

昨年度写真コンクール【九州一周コース】九州観光連絡協議会賞「開聞岳」岩葉永子さん（三重）

すばらしい研修旅行

林　禎二

私は昭和五十一年、公立中学校職員を退いたものですがその年の研修旅行（九州コース）に参加させていただき、いまだにその時の旅の思い出が心あたたかく、なつかしさと研修の目的を果たせた満足感に浸っている一人であります。

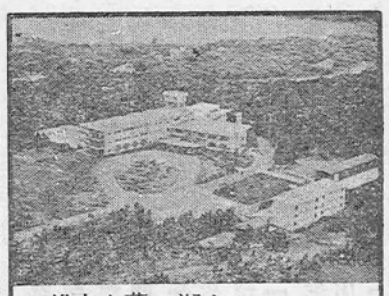
往復飛行機の旅ですから当然かとは思いますが、同じ県内の者は四名だったので出発前は何かと不安でした。しかし羽田のロビーに集合したとたん、北海道や東北の先生がたとすぐ友達になることもできて、同宿の若い先生からお国自慢の話なども聞くことができ、今にして思えば、かえって他県の先生がたといっしょになれたことを幸福に思っています。

宮崎空港まで出迎えてくれたバス乗務員の親切さはいたれりつくせり、第一夜の宮崎観光ホテルの待遇はもちろん鳥井崎観光ホテル、指宿観光ホテル、林田温泉ホテルの四ホテルとも、いずれも負けず劣らずの客扱いに敬服しました。御会の計画にはただひたすら感激いたしました。

「旅は道づれ、世は情け」とは本当です。ストレス解消には旅に限るとは本当ですね。昨年は北海道に行かせてもらいましたので本年は木曽・飛騨・アルペンルートに参加申込みをすませました。来年は山陽・山陰、次の年は南紀、次は沖縄か外国と、妻を慰めるためにもぜひ参加する予定で貯金をしています。

貴会の計画に賛同し、千葉県教育会館文化事業部の方、添乗員、そして出先地の方々に感謝しながらペンをとりました。これからもよい旅を計画され、一人でも多くの現職退職教員およびその家族へ旅行を通じての幸福を賜わりますようお願いいたします。

（千葉県香取郡小見川町　[redacted]）



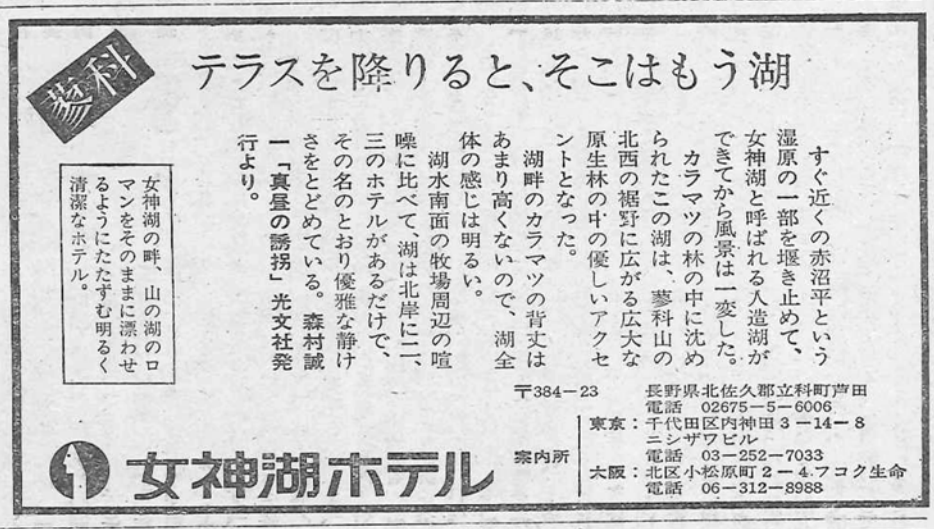
雄大な芦の湖と
美しい湖尻高原

修学旅行専用旅館
箱根高原ホテル
電話　0460（4）8595（代表）

別府あじむ高原
アフリカンサファリ
AFRICAN SAFARI
タンザニア・マハリ マウンテン国立公園姉妹パーク
〒872 大分県宇佐郡安心院町　TEL（09784）8－2331（代）
東京事務所　文京区湯島4－6－11　TEL（03）816－4843
●営業時間　午前9時～午後6時〈3／16～11／15〉
〈冬期間〉　午前9時30分～午後4時〈11／16～3／15〉
●修学旅行料金　高校生900円、中学生600円、小学生500円

訪れるたびごとに野性のドラマが。
動物に学ぼう。動物は生きた教材。　●広さ115万㎡　●飼育動物頭数1,300頭羽

富士の美しさが眼前
樹海の中の国民宿舎
標高1,000メートル、赤松樹海に囲まれた白亜のロッジ。森林公園や陶芸教室などの他ハイキング、テニスコートなど楽しみも豊富です。もちろん修学旅行にも最適の環境にあります。
富士山北ろくの国民宿舎
富士スバルランド
予約センター☎05557－2－2236



蓼科
テラスを降りると、そこはもう湖
すぐ近くの赤沼平という湿原の一部を堰き止めて、女神湖と呼ばれる人造湖ができてから風景は一変した。
カラマツの林の中に沈められたこの湖は、蓼科山の北西の裾野に広がる広大な原生林の中の優しいアクセントとなった。
湖畔のカラマツの背丈はあまり高くないので、湖全体の感じは明るい。
湖水南面の牧場周辺の喧噪に比べて、湖は北岸に二、三のホテルがあるだけで、その名のとおり優雅な静けさをとどめている。森村誠一「真昼の誘拐」光文社発行より。
女神湖の畔、山の湖のロマンをそのままに漂わせるようにたたずむ明るく清潔なホテル。
〒384－23　長野県北佐久郡立科町芦田　電話　02675－5－6006
東京：千代田区内神田3－14－8 ニシザワビル　電話　03－252－7033
大阪：北区小松原町2－4 フコク生命　電話　06－312－8988
女神湖ホテル　案内所

いらっしゃいませ
びわ湖国定公園
近江路の旅へ
収容　600名様
浴場　150名様
設備　全館冷暖房
防災　諸設備完備
駐車場　バス20台
政府登録
国際観光旅館　びわ湖ツーリスト・ホテル
大津市におの浜3丁目2－25　電話　大津（0775）24－2321